

## マイ ラバ Ok?

東区・紫南支部  
(上ノ町・加治屋クリニック) 上ノ町 仁

外国人を採用している企業に、産業医として健診結果の面談・説明に行った時の会話である。そこに勤務しているフィリピン人に結果を日本語・英語、身振り・手振りで説明していたところ

「ドクター マイ ラバ Ok?」と尋ねてきた。

「パードン?」

「ラバ ラバ Ok?」

と胃のあたりを示しながら、そのフィリピン人は私に尋ねてきたのだ。

「ラバ? . . . 」言っている意味が全く分からなかつたので??の顔つきでいると

「ワカラナイ? チョットマッテネ グーグルデ サガスヨ!」

と言って、いわゆるスマホでググりだしたのである。

数分でググり完了し、出てきた言葉が

「ドクター ワタシノ キモ Ok?」ときた。なに~, ラバの次はキモ??. . . それって日本語?

お互い再びの沈黙のあと. . . ひらめいた!!

「キモ=肝」つまりそれは私にとっては焼き鳥屋の専門用語であり、この時初めて行きつけの焼き鳥屋があったことに感謝した(なら、心臓はハツか!)。

そして、ラバと聞こえていたのは、Liverの発音で、先ほどの会話である「マイ ラバ Ok?」は「ワタシノ カンキノウハ イイデスカ?」と言う質問であったことが判明した。もちろん肝機能に問題はなく、その後も不明な点はググって面談はスムーズに終了した。

しかし、肝臓を「きも」って訳すかね?と不思議に思いググってみると、なんと、Google翻訳で英語: Liver 日本語: 肝Kimoと出てきたではないか!なるほど、サクッとググればLiver = Kimoであった。

今後、日本に確実に訪れる少子・超高齢社会に伴う労働人口減少により、各企業で外国人の採用が増加すると予測される。そしてその外国人は母国で学んだ独特な英語の発音で会話するため、雇いはじめはどの企業にも??が起こると思われる。

が、そこはダイジョーブ!

スマホをかざしひればOk! 笑

あと、行きつけの焼き鳥屋があれば、なおOk! 笑笑